

みちのく環境だより

環境省東北地方環境事務所

<http://tohoku.env.go.jp>



「オオセスジイトトンボ

(伊豆沼)」

東北地域における環境問題の取組と東北地方環境事務所の活動内容を紹介しています。

生物多様性国家戦略の改定にむけて

7月11日(水)午後6時よりTKP仙台カンファレンスセンター(仙台市青葉区花京院)で「生物多様性国家戦略の改定に係る説明会 イン仙台」が開催されました。

生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する国の基本計画である、生物多様性国家戦略(以下、「国家戦略」という。)は3度の改定を経て、平成22年3月に現行の国家戦略が策定されましたが、平成22年に名古屋で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の成果を踏まえた見直しが求められていることや、平成23年3月に発生した東日本大震災を踏まえた今後の自然共生社会のあり方を示すことを目的として、中央環境審議会の小委員会において審議が進められてきました。この度「生物多様性国家戦略の改定(案)」について、広く国民の皆様から意見を聴くため、地方説明会が全国8カ所で開催されました。

仙台会場の説明会には約80名が出席し、環境省の担当者から国家戦略の改定(案)に



◆ 戦略のポイントを解説

ついて説明のあと意見交換が行われました。

出席者からは、震災復興が進みつつあるなか、生物多様性がないがしろにされているのではないかという危機感や、自然を守りたいという地域の意見を集約しそれを復興施策へ反映させることの困難さがあるといった意見が寄せられる一方、次期国家戦略は実効性のあるものにしてほしいといった要望などもありました。

東日本大震災による自然の猛威や非情さを目の当たりにした東北地方ですが、自然の営みを

大切にしたいという声が多かったのが印象的でした。

私たちは「3つの生物多様性(生態系、種、遺伝子の多様性)」の恩恵を受けることで、今日の暮らしや多様な文化を維持することができません。一方、私たちの様々な活動がこの生物多様性を失い続ける原因となっています。

失われた多様性の回復が不可能となる臨界点を超えないためにも、豊かな生物多様性を保全し、その恵みを将来にわたり享受できる自然と共生する社会の実現に向けた世界的な取り組みが求められています。

今般いただきましたご意見、パブリックコメントを参考にして次期国家戦略案を検討し、答申・閣議決定後、COP11で世界に示されます。

環境省東北地方環境事務所

〒980-0014

仙台市青葉区本町3-2-23

仙台第2合同庁舎

電話:022(722)2870(代表)

FAX:022(722)2872

電子メール: REO-TOHOKU@env.go.jp

(リサイクル、有害廃棄物輸出入関係、地球温暖化対策、石綿健康被害等に関すること)

電子メール: TOHOKU@env.go.jp

(国立公園、エコツーリズム、自然再生、野生生物、外来生物等に関すること)

三陸復興国立公園の創設に向けた取組 〜南三陸金華山国立公園〜

■■■■■
三陸復興国立公園の創設に向け、今回は宮城県
の南三陸金華山国立公園における取組状況をご紹介します。
■■■■■

森・里・川・海が育む 自然とともに歩む復興

環境省は、東日本大震災被災地の復興のために、平成24年5月7日『三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン』（以下、ビジョン）を発表しました。ビジョンでは『森・里・川・海が育む自然とともに歩む復興』を基本理念として7



◆ 被災した公園施設(石巻市・御番所公園)

つのプロジェクトを実施することとしています。プロジェクトの根幹となる『三陸復興国立公園の創設』では、陸中海岸国立公園を中核に、現在「国立公園」や「都道府県立自然公園」である地域を「国立公園」に編入することで、

観光地としてのまとまりの創出による連携の強化・魅力向上、地域活性化の基盤の創出、自然環境の保全を図ることを目的としています。今回は、編入を予定している自然公園の一つである「南三陸金華山国立公園」の取組を紹介します。

「南三陸金華山国立公園」での取組み

「南三陸金華山国立公園」は、リアス式海岸と海蝕崖という特異な地形と、島々が織りなす優れた雄大な景観であることから、昭和54年に



◆ 宮城県との合同調査(石巻市・金華山)

国立公園に指定されています。国立公園編入にあたって東日本大震災の影響を把握するために現地調査を進めました。その結果、地盤沈下による砂浜の消失、マツ林の枯死、海中の瓦礫散乱などがわかりました。また、津波により海岸部にあった施設の消失、地震による駐車場や車道の地割れ、トイレや展望台の損壊など、多くの公園利用施設への被害が確認できました。

「国立公園」編入にあたっては、新たな公園の保全と利用の計画について考える必要があります。計画を策定する際には、地域全体の復興を中心に、それぞれの地域の個性を活かせるよう地域の意見を聴



◆ ツツジと三陸海岸
(南三陸町、気仙沼市・田東山)

『三陸復興国立公園』になるということ

このように、地域の方の協力によって『三陸復興国立公園の創設』を進めています。『国立公園になる』ということは、国を代表する傑出した自然風景地として、自然の保護と体験利用を進めることにほかなりません。

これを機会に、地域の皆さんには豊かな自然に誇りを持って大切にしてください、訪れた方には自然の猛威と恵み、個性的な文化の魅力を伝え楽しんでいただけるように、『森・里・川・海が育む自然とともに歩む復興』を進めていきたいと思えます。

陸中海岸国立公園 浄土ヶ浜の復興

東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県宮古市。陸中海岸国立公園の利用拠点である浄土ヶ浜地区では、復興に向けた取組が進められています。

待ちに待った海開き

7月21日、宮古市浄土ヶ浜では、2年ぶりに海開きが行われました。

昨年の東日本大震災では、海岸沿いのトイレや休憩施設、歩道などが大きな被害を受けました。最大の見所である奥浄土ヶ浜には大量のゴミ類が打ち上げられ、震災直後から関係者の清掃など復旧に



◆ ブイが設置され準備万端の浄土ヶ浜

向けた取組がなされてきました。しかしながら、昨年は海水浴場の開設はできませんでした。その後の継続的な清掃活動により海浜部の安全が確保されました。また海水の水質についても検査の結果、良好であったことから、海水浴場の開設に漕ぎつけました。今年も子ども達を始めとする多くの市民が待ち焦がれていた海開きです。あいにくこの日は水温が上がらず泳ぐことは出来ませんでした。この夏、沢山の笑顔が溢れることを願います。

レストハウス復活

明るいニュースを、もう一つ。震災で大きく損壊した浄土ヶ浜レストハウスの復旧工事が終了し、海開きに合わせてオープンしました。

平成22年4月にリニューアルオープンしてから一年たたず



◆ オープンに賑わうレストハウス

に津波の被害を受けた姿は、関係者や市民に大きなショックを与えました。関係者のご尽力で早期の復旧工事が進められ、約1年4ヶ月ぶりに営業を再開することができました。

オープン式典には関係者のほか多くの市民も集い、喜びを分かち合いました。

式典では重要無形文化財に指定されている地元の黒森神楽の演舞が奉納され、会場が一体となり、復興への誓いを新たにしました。

環境省では、レストハウスに設置した浄土ヶ浜のライブカメラ映像の配信を開始しました。是非、ご覧下さい。

【ライブ映像】URLはこちらです。↓

http://www.sizenken.biodic.go.jp/live/view.php?camera_no=116

浄土ヶ浜復興に向けて

浄土ヶ浜では、大型観光船遊覧やサップ、船遊覧の再開により、少しずつ活気を取り戻しています。環境省の浄土ヶ浜ビジターセンターを始めとした周辺施設でも国立公園の魅力を発信するための展示やイベントを企画し、利用者を迎えています。

また、環境省では被災した施設の復旧工事を実施しています。5月からはトイレを供用しているほか、海岸歩道は、海水浴場開設期間に限り利用が可能となるよう応急復旧を完了しました。9月からは歩道の本格復旧工事に着手します。

浄土ヶ浜の復興に向け、引き続き関係者の皆様のご協力を頂きますようお願いいたします。



◆ 利用者が列をなす海岸歩道

がれき処理 多摩地区区民が現地視察

被災地のがれき処理の現状を視察するため、宮城県内のがれきを受け入れている東京都多摩地区の住民等73人が、宮城県を訪れました。女川町と石巻市を訪れた一行は、がれき処理現場を視察し、女川町民との意見交換を行いました。



◆ 多摩地区と女川町の住民による
合同エール

被災地見学会は、環境省と宮城県の主催で、7月13日と14日の2日間にわたって行われました。13日には、県庁講堂で災害廃棄物（がれき）処理の状況について説明が行われました。

14日は2班に分かれて現地視察を行いました。石巻市の二次仮置場では、県の担当者から説明を受けながら、選別処理施設や仮設焼却炉、廃置

の仮置場などを見学しました。女川町の選別処理施設では、作業員が手作業で木くずを選別したり、空間放射線量を測定したりする様子を見学しました。

また、女川町民5名との交流会も行われました。津波当時の話や現在の生活の状況を生で聞いて、改めて感じるところが多くあるようでした。

「町が元の姿になって自分も本来の水産業の仕事に戻れるよう、がれき処理の手選別の作業に携わっている」という方の話もありました。多摩地区の皆さんは、がれき受入れによって、被災地の手助けができてよかったという思いとともに、広域処理の必要性を再確認していた様子でした。

今後とも、東北復興のためにも一日も早くがれき処理が完了するよう取り組みます。

6月29日（金）フォレスト仙台（仙台市青葉区柏木）において平成24年度版白書及び環境基本計画を読む会が開催されました。今回の白書は、一震災復興と安全安心で持続可能な社会の実現に向けて」を主題とし、東日本大震災からの復興・復興と持続可能な地域づくりに向けた取組について詳しく記述しています。また、グリーン成長国家の実現のため、我が

白書及び基本計画を読む会

〜仙台会場〜

国の優れた技術やシステムの国際的な貢献についても記述をしています。この会では、白書の内容を広く普及し、より多くの人々に環境配慮や環境保全のための取組を進めていただくため、今年の白書について、テーマやねらいなどを環境省担当者が直接解説し、会場参加者と質疑応答を行いました。

熱中症予防声かけプロジェクト



環境省では「熱中症予防情報サイト」を開設し、暑さ指数の予報値や実況値等をお知らせしています。

URLはこちらです。↓

<http://www.nies.go.jp/health/HeatStroke/>

水俣病特措法広報活動

6月8日〜29日までの間、毎週金曜日にJR仙台駅2階コンコースにおいてチラシ配布を行い、水俣病被害者の救済措置申請受付を呼びかけました。



◆ 周知広報活動は全国一斉に行われました。

環境NPO等ビジネスモデル策定事業採択 地域社会の活性化を目指す

本事業は、環境NPO等を事業型環境NPO又は社会的企業として発展させていくために、地域の関係主体と連携して全国に普及しうるビジネスモデルを創出することを目的としています。東北地域で応募があった5件の中から企画審査委員会による審査等を経て、2事業が採択されました。

持続可能な社会を実現するためには、地域の自然エネルギーや未利用資源の活用・保全を通じて地域社会を活性化し、地域の社会変革をもたらす事業活動を担う事業型の環境NPOや社会的企業の活躍が必要不可欠です。そのため環境省では、平成21年度より、事業型の環境NPO又は社会的企業が自立的な活動ができるよう、ビジネスモデルを創出する事業を実施しています。

採択された事業は「特定非営利活動法人 東鳴子ゆめ会議」の「心と体を癒やす「里山プラットフォーム」づくり事業」と「特定非営利活動法人 日本の森バイオマスネットワーク」の「震災復興を推

進する環境教育事業」です。

採択された2団体の公的資金のみに依存しない資金調達手法及び経営ノウハウを習得できるよう、東北地方環境事務所はEPO東北（東北環境パートナーシップオフィス）と連携して「東北地域支援事務局」を構成し、ビジネスモデル創出に向けて伴走することとしています。

伴走等の経過に関しましては、EPO東北のホームページにおいて公開していますので、ご参照ください。

【EPO東北からのお知らせ】URLはこちらです。↓

<http://www.epo-tohoku.jp/NEWS/eponews/index.html#news>

心と体を癒やす 里山プラットフォームづくり事業

地域の温泉資源、耕作放棄地、里山等の未利用資源を活用して、都市生活者に里山料理教室、湯治、農業体験等のプログラムを提供し、農家等との交流を進め、自然の中で五感を再生する場（プラットフォーム）を構築する。

特定非営利活動法人 東鳴子ゆめ会議

東鳴子温泉を拠点に、旅館・商店・町内会が伝統の湯治をベースに観光団体や地域住民との垣根をはずした一体型の地域づくりに取り組んでいます。



◆ 鳴子御殿湯駅 リニューアルイベント

震災復興を推進する 環境教育事業

北上川流域における自然的資源を活用した「環境教育事業」や、被災経験を次世代に伝える「防災教育事業」を核として、持続可能な地域社会の発展を担う人材育成を行う。

特定非営利活動法人 日本の森バイオマスネットワーク

木質ペレット燃料や国産材の活用促進による持続可能な地域社会の実現をミッションとしています。森林バイオマスエネルギーの活用推進、材木の活用推進、森林をテーマにした環境教育活動に取り組んでいます。



◆ ペレットプラント実証実験

東北地方環境事務所の業務予定（平成 24 年 8 月・9 月・10 月）

月日	時 間	内 容		場 所 等	担 当 課 等
7.23 ～ 8.19	午前の部 9:00～ 11:30 午後の部 13:00～ 15:30	夏休み特別体験プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・蜜ろうそく作り ・エコバッグ作り ・ペーパークラフト ・鳥海山を作ろう ・登山道散策 	鳥海イヌワシみらい館（猛禽類保護センター）	鳥海南麓自然保護官事務所（水落）
8.2～ 8.20	①6:30～ 7:30 ②午前午後1回 ③19:30～ 20:00	サブレンジャーがやってくる！	<ul style="list-style-type: none"> ①早朝観察会（姉ヶ崎園地） ②日中観察会、クラフト体験（浄土ヶ浜園地、姉ヶ崎園地） ③夜のスライドショー（姉ヶ崎園地） 	浄土ヶ浜園地、姉ヶ崎園地（宮古市）	宮古自然保護官事務所（深谷）
8.10	18:30～ 20:30	サマーナイトハイク	夜の浄土ヶ浜を散策しながら、動植物を観察します。	浄土ヶ浜ビジターセンター、浄土ヶ浜園地（宮古市）	宮古自然保護官事務所（深谷）
8.10	19:00～ 21:00	星座観察会	夏の大沼に見える星座の観察会を行います。	八幡平ビジターセンター	鹿角自然保護官事務所（福原）
8.19	8:30～ 12:00	夏を染めよう草木染め	夏の色に染め上げる草木染めを開催します。	月山ビジターセンター	羽黒自然保護官事務所（坂本）
8.25	8:30～ 15:30	大谷地・長沼トレッキング	静けさが漂う大沼と長沼を探訪、秋の気配を感じながら夏から秋への八幡平の自然を観察します。	大沼-大谷地-長沼 集合場所：八幡平ビジターセンター	鹿角自然保護官事務所（福原）
8.26	9:00～ 16:30	自然観察会	深緑の赤水溪谷を散策し動植物を観察します。	森吉山野生鳥獣センター	森吉山野生鳥獣センター運営協議会
9.1	9:00～ 12:30	浄土ヶ浜ウォークラリー	浄土ヶ浜をフィールドに、五感や観察力を頼りにクイズを解いてゴールを目指します。（対象者：親子・一般）	浄土ヶ浜園地（宮古市）	宮古自然保護官事務所（深谷）
9.8	8:00～ 15:00	深緑の登山！戸来岳	十和田三山の一つ、戸来岳の主峰にあたる大駒ヶ岳と三ツ岳を登山します。十和田湖、太平洋の眺望や秋の花を楽しみます。	道の駅「新郷」駐車場	十和田自然保護官事務所（松山）
9.9	8:30～ 17:00	月山クリーン登山	月山を清掃登山をしながら羽黒口から姥沢へ縦走します。	月山ビジターセンター	羽黒自然保護官事務所（坂本）
9.9	9:00～ 15:00	茶臼岳・八幡平縦走トレッキング	高原を訪れる一足早い秋「草紅葉」、黄金色に色づいた高原の秋を観察します。	八幡平 集合場所：八幡平ビジターセンター	鹿角自然保護官事務所（福原）
9.9	9:00～ 15:00	第4回 秋田駒ヶ岳自然観察会	高原を訪れる秋を感じながらエゾオヤマリンドウをはじめとする秋の高山植物を観察します。	秋田駒ヶ岳 集合場所：アルパこまくさ	鹿角自然保護官事務所（福原）

月日	時 間	内 容		場 所 等	担 当 課 等
9.15	8:30～ 12:00	羽黒山の自然を楽しむ	羽黒山旧月山登拝道を歩きます。	月山ビジターセンター	羽黒自然保護官事務所（坂本）
9.16	9:00～ 15:00	秋の渡りを見よう！	冬を前に、南へ渡っていくワシタカの仲間達を観察します。鳥海山の空に上がるタカ柱を見つけましょう！	集合：酒田市役所 観察地：鳥海山 銚立	鳥海南麓自然保護官事務所（水落）
9.22	8:30～ 17:00	秋田駒ヶ岳の紅葉を楽しむ	月山 VC 開館 25 周年企画 秋田駒ヶ岳で秋色に染まった紅葉の中を歩きます。	月山ビジターセンター	羽黒自然保護官事務所（坂本）
9.23	7:30～ 16:30	八幡平・裏岩手ルートトレッキング	秋深まる裏岩手ルートをオオシラビソの樹海を抜け、なだらかな稜線からの眺望を楽しみます。	八幡平 集合場所：八幡平パークサービスセンター	鹿角自然保護官事務所（福原）
9.29 ～30	1 日目 9:00～ 17:00 2 日目 9:00～ 15:00	2 日間のイヌワシ観察会	動物園でのイヌワシの保護の取り組みについて理解し、飼育下でのイヌワシと野生のイヌワシを比較観察できる 2 日間です。	集合場所 1 日目 酒田市役所 2 日目 鳥海イヌワシみらい館 (猛禽類保護センター)	鳥海南麓自然保護官事務所（水落）
10.6	9:00～ 15:00	紅葉の大パノラマ！ 北八甲田雛岳登山	雛岳を登山し、北八甲田山の展望と見頃を迎えたブナ、ダケカンバ、ナナカマドなどの紅葉を探勝します。	青森県宮田代平 駐車場	十和田自然保護官事務所（松山）
10.6	9:00～ 15:00	焼け山トレッキング	べこ谷地湿原の草紅葉、温泉の流れる湯ノ沢を抜けて紅葉の焼け山を観察します。	八幡平・焼け山 集合場所：八幡平ビジターセンター	鹿角自然保護官事務所（福原）
10.7	9:30～ 14:00	乳頭・ブナの森観察会	紅葉の乳頭の森を散策しながら一首。乳頭キャンプ場で合評会を開催します。	乳頭ブナの森 集合場所：休暇村乳頭温泉郷	鹿角自然保護官事務所（福原）
10.7	8:30～ 12:00	紅葉の弥陀ヶ原を楽しもう	月山 8 合目の弥陀ヶ原にて、紅葉色とりどりに染まる植物の変化を楽しみます	月山ビジターセンター	羽黒自然保護官事務所（坂本）
10.8	10:00～ 15:00	JPR 事業 野鳥観察とエコデコイ作り	キャンプ場周辺にある展望台までの道のりを歩き、野鳥を観察します。昼食時は火付け教室を開催、みんなで昼食を作ります。	鷹ノ巣キャンプ場	羽黒自然保護官事務所（坂本）
10.13 ～14	8:30～ 17:00	月山 VC25 周辺イベント	クラフト体験、写真展、講演会、出展など（詳細未定）	月山ビジターセンター	羽黒自然保護官事務所（坂本）
10.14	9:00～ 15:00	秋の八甲田自然体験プログラム	酸ヶ湯周辺で集めた落ち葉を利用しダンボールで燻製を作ります。また、温泉の熱を利用したエコクッキングを体験できます。	酸ヶ湯野営場	十和田自然保護官事務所（松山）
10.14	9:00～ 15:00	第 5 回 秋田駒ヶ岳自然観察会	晩秋の雪を待つばかりの秋田駒ヶ岳の自然観察会。チングルマなどの紅葉を観察します。	秋田駒ヶ岳 集合場所：アルパこまくさ	鹿角自然保護官事務所（福原）
10.14	9:00～ 16:30	自然観察会	赤水溪谷の紅葉を散策し動植物を観察します。	森吉山野生鳥獣センター	森吉山野生鳥獣センター運営協議会

月日	時間	内容		場所等	担当課等
10.20	9:00～ 16:00	クラフト教室	場内で材料を探してクラフト作り・屋外料理を楽しみます。	大沼・後生掛 キャンプ場 集合場所：八幡 平ビジターセン ター	鹿角自然保護官事 務所（福原）
10.20	17:30～ 19:30	星空観察会	秋の夜空を見上げて、星座観察を行います。 （対象者：親子・一般）	姉ヶ崎園地（宮 古市）	宮古自然保護官事 務所（深谷）
10.21	10:00～ 12:00	クラフト体験	ハロウィンの日に向けてハロウィングッズを作ります。	浄土ヶ浜ビジ ターセンター （宮古市）	宮古自然保護官事 務所（深谷）
10.21	9:00～ 16:30	自然観察会	小又峡を散策し溪谷の甌穴の形成の仕方や自然を観察します。	森吉山野生鳥獣 センター	森吉山野生鳥獣セ ンター運営協議会
10.21	8:30～ 12:00	紅葉のブナ林を歩く	月山七合目～北月山荘まで、紅葉に染まったブナ林を歩きます。	月山ビジターセ ンター	羽黒自然保護官事 務所（坂本）
10.22	8:00～ 15:00	紅葉の松見の滝ウォーク！	「日本の滝 100 選」の松見の滝へウォーキングします。黄瀬川沿いのカエデの紅葉も素晴らしいです。	奥入瀬溪流館前 駐車場	十和田自然保護官 事務所（松山）
10.28	8:30～ 12:00	秋の恵観察会	秋の恵みを五感で楽しめます。	月山ビジターセ ンター	羽黒自然保護官事 務所（坂本）

写真コーナー

十和田八幡平国立公園



八幡平・焼山イワカガミの群生

陸中海岸国立公園



侍浜のスカシユリと海水プール(久慈)

磐梯朝日国立公園



バンダイクワガタ(磐梯山)



大鳥池を望む(朝日連峰)

種差海岸 (三陸復興国立公園編入予定地)



ニッコウキスゲ・ノハナショウブ(種差海岸)



スカシユリ(種差海岸)

白神山地



白神山地・大川のタカヘグリ

仙台海浜鳥獣保護区



蒲生干潟のカラシラサギ